

広報

大地

平成20年1月18日発行

〈発行所〉

空知郡中富良野町丘町7番18号

富良野土地改良区

TEL 0167-44-2131

FAX 0167-44-2736

〈編集〉

総務課



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2007入選作品「青空に向かってのびる稲」
上富良野町立東中小学校6学年 小野寺真菜さん

豊かな水と大地



No. 15

おもな内容

- 年頭のあいさつ
- 平成18年度 決算概要・財産目録
- 任期満了に伴う総代選挙のお知らせ
- 農地・水・環境保全向上対策活動状況
- 21世紀創造運動

新しい年を迎えて



理事長 長尾 栄 治

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、

ご家族お揃いで新たな年を迎えられました事を心よりお喜び申し上げます。

昨年の営農については、雪解けが遅れることなく春の農作業は順調に進みました。しかしながら、七月下旬に低温の時期があり、また全般的に小雨傾向で畑作物の干ばつが見受けられました。収穫時期には長雨が続き作業が難航するなど極端な天候でありました。その様な気象条件の下農作物の出来具合は、水稲・玉葱・馬鈴薯は例年よりやや収量を落としているものの、秋まき小麦・豆類は平年作よりやや上と聞き及んでおります。天候を勘案すれば皆様の努力が収量に現れたのではないかと思えます。

国内の農業、食糧事情は依然大変厳しい状況であり、平成十八年

度の食糧自給率は三十九%に低下したそうであります。懸念事項である日豪EPA交渉は、オーストラリアが関税撤廃を求めている米・牛肉・小麦・砂糖・乳製品はいず

れも北海道が主力の農産物であり、仮に交渉が成立してしまえば北海道は大きな打撃を被ります。また、

昨年は様々な場面で食の信頼性が揺らいだ年でもありました。国際化の波に呑まれることなく、消費者に安全・安心な食物を提供する事を本懐とする事が、今まで以上に必要な時期に來たと感じます。本土土地改良区においても、農業農村整備事業を通じて富良野地域の農業基盤の整備と生産性の更なる向上に貢献して行きたいと決意を新たにすべく次第です。

その一環として国営総合農地防災事業「空知川地区」・国営農地再整備事業「富良野盆地地区」の両事業が本年度事業着工の予定であり、事業申請に向けて受益組

合員の方々に同意書を頂く段階となりました。概要につきましては当広報前号で紹介させて頂いておりますが、同意書徴収の時期に配慮して進めて参りたいと考えます。

関係組合員の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。他方、東中地区・東郷地区及び他の未整備地区においても新規土地改良事業を積極的に取り組み、多様化する農業生産に対応できる用排水路及び圃場を整備するべく、組合員の皆様の付託に応える所存です。また、昨年四月よりスタートいたしました「農地・水・環境保全向上対策」については、上富良野町・中富良野町エリアで九つの活動組織が設立されました。富良野市におきましても新年度からのスタートを目指して準備を進めている状況であります。今までにない事業形態であり、模索しながらの推進であります。農村環境を自らの手により守り後世に伝える大切な位置づけと認識し、今後土地改良区としての立場で鋭意努力をしてゆきたいと考えます。土地改良施設が地域社会に与える多面的な恩恵を広く認知頂くべく、本年も「二十一世紀創造運動」活動を推進して行きたいと考えております。

組合員の皆様のご理解により、当

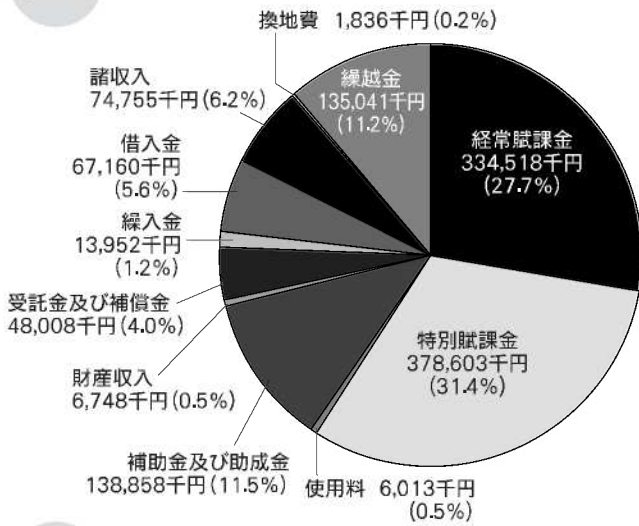
土地改良区はこの活動において北海道大賞の荣誉に輝くことが出来ました。この場をお借りし厚くお礼申し上げます。この創造運動活動の中には地域小学校の協力を得ながら、絵画展の応募も続けております。この度、上富良野町立東中小学校の小野寺真菜さんの作品が「ふるさとのおんぼと水」子供絵画展で二〇〇七年度の「入選」に選ばれました。広く皆様に紹介すべく今回の広報表紙に飾らせて頂きました。今後も多くの子供たちが参加してもらえよう期待するところでございます。

本年は総代の任期満了に伴う選挙が執行される年であります。土地改良事業推進の舵取りが難しい時勢であります。総代は土地改良区の意志決定機関として重要な構成員であります。組合員の皆様のご理解とご協力を頂きながら万端滞りなく執行される事を望みます。また、本土土地改良区役職員においても新年を迎え新たな気持ちで職責に精励し、組合員の皆様に真摯な態度で対応する所存でございます。最後に皆様のご健勝と豊饒の秋をご祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。

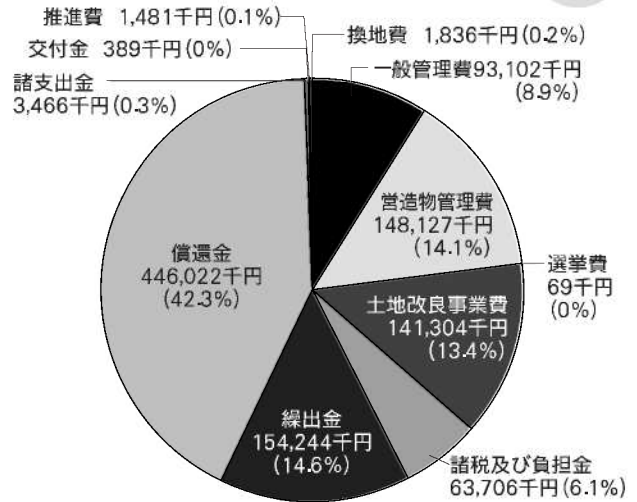
平成18年度 決算の概要

収入決算額 1,205,492千円
 支出決算額 1,053,746千円
 翌年度へ繰越 151,746千円

収入



支出

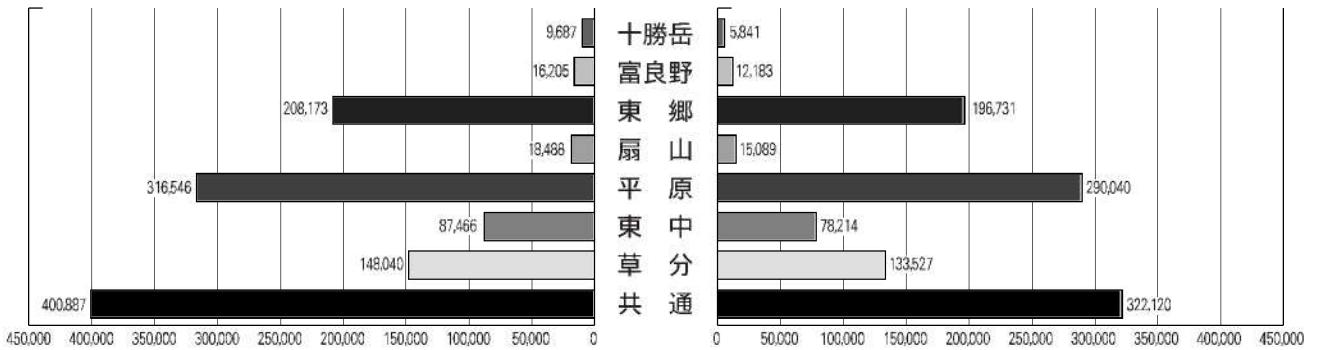


収入

各地区の決算

支出

(単位:千円)



主任技師 小林雄司
 工務課長 太田敦春
 総務課長 松井弘
 参事 佐々木秀範
 監事 田中敏一
 監事 米沢孝美
 総務監 大角勝美
 包括監 山崎孝司
 理事 石上利夫
 理事 丸山英幸
 理事 瀬川幸夫
 理事 田井晴夫
 理事 原田一夫
 理事 向山富章
 工務副委員長 菊地信章
 総務副委員長 井上勝祐
 工務委員長 信岡正之
 総務委員長 鈴木弘美
 理事長代理 梅本哲昭
 理事 長尾栄治

謹んで新年のご挨拶と
 申し上げます

財産目録

資産の部

(単位：千円)

種 別	金 額
流動資産	171,448
現金及び預金	151,746
未収金	3,281
前払金	16,421
特定資産	1,622,663
基本財産	163,573
積立金	1,453,456
出資金	5,634
固定資産	109,897
土地	32,198
建物	38,793
車輛	23,781
備品	15,125
合計	1,904,008

負債の部

(単位：千円)

種 別	金 額
長期負債	1,766,265
農林漁業資金	1,482,838
平準化資金	283,427
短期負債	721,951
未払金	7,060
役員退任手当必要額	2,128
職員退職手当必要額	210,448
地区除外等決済金積立金	56,741
償還準備金積立金	442,175
償還調整積立金	3,399
合計	2,488,216

各工事の施工状況

〈各地区維持工事〉

地 区	件数	金 額
草 分	16	8,443
東 中	29	18,634
平 原	46	30,590
扇 山	3	1,035
東 郷	11	2,877
富良野	3	2,793
合 計	108	64,372

〈道営事業〉

地 区	総事業費	H18年度
島 津	1,100,000	253,041
こがね	1,495,180	5,000
東学田	767,000	27,068
学 田	850,170	8,735
富良野南	777,000	53,682
本 幸	1,612,000	14,894
合 計	6,601,350	362,420

〈国営事業〉

(単位：千円)

地 区	総事業費	H18年度
空知川右岸 (二期)	33,430,000	1,000,000
ふらの	7,580,000	460,000
合 計	41,010,000	1,460,000

平成18年度 各地区面積等内訳

地 区	賦課面積 (ha)	組合員数 (名)	平均 (ha)	積立金 (円)	10a当 (円)	1戸当 (円)	借入金 (円)	10a当 (円)	1戸当 (円)	未収金 (円)	10a当 (円)	1戸当 (円)
共 通				485,352,020	6,117	446,096				147,102	2	135
草 分	935.96	188	4.98	95,999,063	10,257	510,633	444,593,743	47,501	2,364,860	689,120	74	3,666
東 中	1,292.04	158	8.18	213,768,307	16,545	1,352,964	30,694,646	2,376	194,270	185,412	14	1,173
平 原	3,261.04	371	8.79	379,672,346	11,643	1,023,376	472,301,496	14,483	1,273,050	826,043	25	2,227
扇 山	476.59	71	6.71	73,695,090	15,463	1,037,959	77,296,070	16,219	1,088,677	0	0	0
東 郷	1,969.32	300	6.56	285,915,320	14,518	953,051	741,379,584	37,646	2,471,265	1,433,109	73	4,777
富良野				81,697,294								
十勝岳				929,666								
合 計	7,934.95	1,088	7.29	1,617,029,106	20,378	1,486,240	1,766,265,539	22,259	1,623,405	3,280,786	41	3,015

※富良野地区は主に布部川頭首工・空知川頭首工・山手幹線水路の維持管理、十勝岳地区は主に日新ダムの維持管理。

東中地区総代の 補欠選挙行つ

本土地改良区総代の欠員に伴い、第二選挙区（東中地区）の総代補欠選挙を中富良野町選挙管理委員会のもとに平成十九年六月二十一日選挙会が執行され、補欠総代二名が無投票当選で就任した。

○任期

平成二十年六月二十一日まで

○当選者

届出順・年齢は六月二十一日現在

第二区選挙区（東中地区）二名	
氏名	年齢
岩田正義	60
谷崎努	59
期別	新



21創造運動北海道 太賞受賞する



北海道土地連より上川地区代表として受賞する。

受賞の活動内容として都市と農村の交流・地域イベントに参加し土地改良区の役割をPRする。又、地域住民と連携をとり植樹・植栽をして用水路の景観をよくする。小学生を対象に土地改良施設の見学会・田んぼの生き物調査を学校教育の一端として実施し、連携を図った事に評価された。

長尾理事長 国へ提案活動

平成二十年度 農業農村整備事業による地域農業の確立に向けて、長尾理事長は土地連上川支部土地改良区委員会委員長として、土地連上川支部長・副支部長と共に、関係衆参両議員、国土交通省・農林水産省・財務省及び上川支庁・旭川開発建設部・北海道開発局・北海道庁へ国営事業空知川地区・富良野盆地地区及び道営事業の実現に向けて提案活動を行った。



提案内容を説明する長尾理事長（左列右から2人目）

新規職員採用のお知らせ

- 募集人員 一名
- 募集職種 技術職（土木）
- 応募資格 平成二十一年三月4年制大学卒業見込み
- 採用年度 平成二十一年度
- 選考方法 履歴書・面接試験・筆記試験

農水省による 土地改良区検査 終了する

平成十九年八月二十二日から二十四日の三日間に亘り、土地改良区大会議室に於いて監事三名の立会のもと実施された。

土地改良区概要を説明し、組織運営、事業及び会計経理全般について検査指導を受け、概ね良好と講評を受けた。

検査官

農村振興局企画部土地改良企画課

財 部 久 次

地区除外等決済金について

土地改良区の賦課区域内にある農地を農地以外に転用（宅地にした、道路用地や河川用地になった等）することになった場合、地区除外等処理規程に基づき決済金を納めなければなりません。これは、今後も農用地として利用する土地に負担を掛けないために、一括して支払うものです。

この決済をされないと、従前の面積で賦課されますので必ず決済をしてください。

組合員の資格得喪について

組合員が土地の全部又は一部を異動（売買・相続・経営移譲・賃貸借）した場合には資格得喪届が必要で、手続きがされなければ従前の組合員に賦課されます。

三月は特に、混み合うことが予想されますので原因が生じましたら速やかに手続きをして下さい。

電話 44-2131 管理課

(住友・浦瀧)

任期満了に伴う総代選挙のお知らせ

本年6月21日をもって現任総代の任期が満了になります。これに伴い、6月上旬に選挙を予定しておりますのでお知らせします。

選挙の概要

◎選挙と定数

選挙区	選挙区域	定数
第1区	草分地区	7人
第2区	東中地区	7人
第3区	富良野平原地区	17人
第4区	扇山地区	3人
第5区	東郷地区	11人
合	計	45人

◎立候補の資格……組合員で25歳以上の者であること。
(成年被後見人、被保佐人及び禁錮以上の刑に処せられて執行中の者を除く)
※詳細については、次号の広報でお知らせ致します。



(総務課庶務係)

表紙の絵

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2007で、全国12,548点の応募の中から上富良野町立東中小学校6年小野寺真菜さんが入選し、同じく熊谷季代里さんは水十里ネットふらの賞を受賞され、去る12月21日東中小学校体育館で長尾理事長が表彰状と記念品を授与した。



長尾理事長より表彰状を授与される 小野寺 真菜さん

平成も「二十歳」(はたち)になりました。

早いもので、今年で平成も「二十歳」になります。生年月日は平成元年一月八日です。今年から大人の仲間入りです。「二十歳」を何故「はたち」って言うんだろー? はたちの「はた」は「二十」を意味し、「ち」は助数詞。助数詞の「ち」は、「ひとつ」「ふたつ」の「つ」と同じく「個」を意味している。「ひとつ」「ふたつ」の「つ」が個数だけでなく、「一歳」「二歳」などの年齢を表す際にも用いられることと、「はたち」が「20」という個数を表していたものが、年齢に用いられるようになった。

▼今回の「おまけ」

大相撲をご存じですよ、朝青龍さんへとか「白鵬さんへ」とか沢山の力士の名前を書いた「旗(はた)」がはためています。

その「旗」をとめているところが「乳(ち)」。この「乳」数が「20」ことから「20」を「旗乳(はたち)」と言うようになったとの俗説もあるそう。

農地・水・環境保全向上対策活動状況

本年度より農地・水・環境保全向上対策がスタートしました。

農業の基盤となる農地・農業用排水の資源保全や環境を良くし食の安全、安心の向上を図ることを目的として行われています。上富良野町4組織、中富良野町5組織が地域住民や自治会を中心に活動しております。

今回は東中地域環境保全組合と西中地域環境保全組合を紹介します。



東中調整池周辺の
草刈作業
(東中地域環境保全組合)



西中小学校の父兄と児童で
揚水機場周辺に
チューリップの球根を植える
(西中地域環境保全組合)



来年の春にどんな色の花が咲くか
あごーく楽しみ

愛称：農地・水・環境保全対策協議会で募集していた愛称とロゴマークが356点の応募の中から右図に決まった。「とんぼの未来」と「北の里づくり」の2名の作品を組み合わせたもの。



21世紀創造運動日記

土地改良区の事業・役割等を広く知ってもらうため、1年を通してPR活動をしております。各市町の農業祭りに参加して土地改良区のPR活動、札幌では富良野でとれた農産物、加工品を2日間にわたり販売しました。富良野の知名度も高く好評だった。

子供達を対象にして、中富良野小学校高学年の児童には夏休みスッキリ講座”源流からの贈り物”と題して土地改良区の施設研修を行った。また、冬休みは山手幹線用水路を利用して富良野鳥沼小学校児童がクロスカントリーを行い、お昼は豚汁で賑い父兄の方と懇親を深めた。



7月7日・8月4日JA農業フェスティバル、7月28日 富良野へそ祭りは大雪・東和・富良野土地改良区合同参加で土地改良区のPR活動をする



7月24日
なんでも体験隊、麓郷のファームポンドの上で記念撮影
”みんなこっち向いて”



8月26日
2007旭川農業祭りのイベントに大雪・東和・旭川・富良野土地改良区で参加して土地改良区のPR活動を行う



9月15・16日
札幌で農産物フェスタに参加し富良野の特産物を販売し、野菜の詰め放題は完売しました



10月20日
水土里ふれあい広場でパネル展・田んぼの生き物等を展示した、この様子を「FMラジオふらの」で録音放送された（緊張して説明する松井総務課長(左)）



1月15日
山手幹線用水路の施設内でクロスカントリーのコースを作り鳥沼小学校の児童を対象に行ったあと一息 がんばれ！